



# 岩江中だより

第30号  
 発行日：平成26年11月18日  
 発行：三春町立岩江中学校  
 電話：0247-62-8290  
 FAX：0247-62-8380  
 E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

## 【交通安全、事故「ゼロ」をみんなの力で！～田村地区交通安全大会、三春町で開催～】

11月13日（木）には、三春町大町からまほらとその周辺を会場に、第5回田村地方交通安全大会が実施されました。第1部として、13：30から三春小学校の鼓笛隊パレードが始まりました。三春小学校の駐車場ですれ違いましたが、赤・白・緑のユニフォームに身を包んだ子どもたちは、まるで小学生には見えず、大人びてアイドルグループかお人形さんのように見えました。まほらに向かう途中では、県警音楽隊のみなさんともすれ違い、今見た小学生に比べるとやっぱりでっかかったです。

交通安全パレードの後、会場をまほらホールに移し第2部が開催されました。まずは県警音楽隊の演奏とカラーガード隊の演技から始まりました。カラフルな旗と衣装、交通安全をアピールしていました。大会会長の三春町長様、そして、田村警察署長様のご挨拶と会は進みました。交通被害者の中でシートベルトを着用していれば助かる命もたくさんあったというお話に、とても残念な思いがいたしましたし、シートベルト着用を子どもたちにも継続して指導・徹底していかなければならないと強く思いました。

会は表彰へと進み、交通安全にご功労のあったみなさんが表彰を受けられました。その中で、わが三春町からは、東北管区警察局・東北交通安全協会長連盟表彰として湯峯様が、そして、わが岩江小・中学校学校運営協議会メンバーの新田佳利様が優良運転者の表彰を受けられました。おめでとうございます。長年、三春町・岩江地区の交通安全にご尽力いただき心より感謝申し上げます。また、交通安全ポスターコンクールでは、移中の石井さん、瀬川小の橋本さん、浮金小の藤井さん、瀬川小の橋本さんが最優秀賞に輝き表彰を受けました。交通安全に関する意見発表も3名の小学6年生からあり、結びに会は大会宣言を採択し万歳三唱で終了しました。

《大会宣言》 交通事故のない、安全で安心できる美しいふるさとを創ることは、わたしたち全ての願いです。本日、「第5回田村地方交通安全大会」にあたり、わたしたちは、次のことについて決意を新たに、交通事故の根絶に向けてまい進することを誓います。

- 1 わたしたちは、命の大切さを認識し、交通事故に遭わない、起こさないという強い意志と、子どもと高齢者の交通事故防止のため、思いやりの心をもって行動します。
- 2 わたしたちは、自ら飲酒運転を絶対にしないことはもちろん、飲酒運転の追放に努めます。
- 3 わたしたちは、車に乗るときは法定速度を守り、必ずシートベルトを着用するとともに、同乗者全員にもシートベルトまたはチャイルドシートを必ず着用させます。
- 4 わたしたちは、道路を歩くときも、自転車に乗るときも交通ルールを守るとともに、家庭・学校・職場・地域が一体となり、交通事故の防止に取り組みます。

以上、「思いやり 人も車も 自転車も」のスローガンのもと、安全で安心できる地域を実現するため、わたしたち一人ひとりが責任と自覚をもって、交通事故の絶滅に向けて取り組むことを誓います。

平成26年11月13日 第5回田村地方交通安全大会



## 【第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」解団式

～夢のため、学校・所属のため、三春町のため～

11月16日(日)は、第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」の日でした。26年の歴史をもつこの大会には、本校より2名の3年生が候補選手として選出され参加しました。

大会当日は報道もたくさんなされており、みなさんの方がご存じかと思いますので、練習段階から少しだけ関わらせていただいたこともあり、子どもたちの目に見えない努力や積み重ねについてお伝えいたします。

二人の練習は2ヶ月前から始まりました。ふくしま駅伝事務局から2名の候補選手をリストアップしましたので、参加の意思についてご家族ともども確認してくださいという問い合わせから始まりました。

二人の結論は「やってみます。」というものでした。それから、事務局から出された練習案と二人の都合をすりあわせ練習参加計画を作成しました。次なる問題は、練習会場である田村高校までの往復をどうするかという問題でした。町の活動でもあり岩江地区という距離的問題にはご配慮をお願いしますとお願いし、送迎をしていただけることになりました。学校の都合で出発時間等があわない場合は学校で送迎し練習に参加しました。

初めての練習は9月17日、校長の車の後部座席で、楽しそうな中にも心配そうにしている二人の姿がかわいらしく見えました。それから2ヶ月の間、学業と学校行事、そして、ふくしま駅伝練習と、たくさんの活動を見事にこなし、二人はふくしま駅伝チームの一員として、チーム員との絆を深めていきました。休日には練習会場の田村高校まで自転車で二人仲良く通う姿も見られました。苦労も二人で分け合うと半分になるのかなとも感じました。

こんなこともありました。校長のところに来て、「今日はもう一人の人が学校の活動で練習に参加できません。」と言って、後はもじもじしていました。(一人で練習に行くのは心細いんだけどなかなか言い出せないんだな)と感じたので、「心配なくていいよ。たいへんだけど練習に参加してごらん。」と伝えると仕方なく一人で練習に出かけていきました。そんな心細さをもちながらの練習でもありました。だからこそ価値のある岩江中学校からの参加だったのだと思います。初めてのことに何かと不安や心配がつきものです。それを乗り越えたからこそ充実感や満足感にたどり着くことができます。二人の勇気に心から拍手をおくりたいと思います。

解団式では、補欠選手も含め、全ての候補選手等が話す機会を与えていただき、それぞれがそれぞれの思いを表明していました。本当にみんな仲良く、楽しそうな笑顔にあふれ、それが苦労をともに乗り越えた人だけが味わうことのできる笑顔かととても印象的でした。スタッフのみなさまを含め、岩江中生徒が候補選手として練習するためにご尽力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。そして、何よりも、本当によくがんばった二人に心からエールをおくります。



## 【みんなから見守られ季節は紅葉から雪の季節へ ～冬季の事故に気をつけよう！～】

